

2011年10月上旬
遠山藤原学校研修

—長野県最南部の遠山郷で、藤原直哉と21世紀的ライフスタイルを学ぶ—

特集：遠山郷で21世紀を学ぶ2日間
—10月上旬：遠山郷の人情を味わう—



研修日程：2011年10月1日（土）・2日（日）の2日間

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修主催：シンクタンク藤原事務所

旅行手配・バス運行：マツカワ観光バス株式会社

< 1、研修の内容 >

このたびは、2011年10月上旬の遠山藤原学校研修の資料請求をいただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつとされています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山郷の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、人と自然の本物の共生を体験したい人には、絶対お勧めの地域です。

さらに遠山郷は人情の里でもあります。遠山郷の人たちはとても人情味溢れた人たちで、特に都会の人たちとの交流が大好きです。そのため山村にありがちな閉鎖的で暗い雰囲気ではなくて、底抜けに明るくて建設的な雰囲気を、ここを訪れるみなさんに感じていただくことができます。特にこの研修では夜の懇親会に地元の有志をお招きして、共に食卓を囲み、お酒をいただき、楽しく交流していただきます。そうした心のふれあいがとても自然に、楽しく行われるのも、人情の里、遠山郷の非常に大きな魅力です。

4年前から始まった遠山藤原学校、遠山郷の休日は、毎年参加者が増えていまして、今年も3月から11月までの毎月開催です。そして今年の遠山藤原学校研修のテーマは「遠山郷で21世紀を学ぶ2日間」です。遠山郷は一言で言えば里山に囲まれた地域です。里山というのは、人が住む里と、人が行かない深山の間にある山のことで、里に暮らす人たちの生活のために手を入れられている山のことで、里山では人と動物、自然が共生していて、本当に日本の原風景とも言えるような姿がそこにはあります。特に戦後の近代化のなかで全国各地の里山が荒廃し、自然の生態系や人との共生生活が崩れてしまった場所が多く、遠山郷も例外ではありません。既に限界集落になっている場所も多い遠山郷では、我々のように外から来た人たちも手伝って、何とか里山を復活し、遠山郷にかつての賑わいを取り戻そうという動きが本格化しつつあります。そこで今回の研修では里山の魅力をみなさんに味わっていただき、里山を中心にした日本の原風景を堪能していただき、その「なつかしい未来」の風景のなかで、21世紀を明るく元気に生きるためのさまざまな勉強をしていただきます。

まず、1日目は12時30分に、遠山郷の中心、和田地区にあります国道152号線沿いの道の駅「遠山郷」内の、アンバマイ館という遠山郷観光協会の施設に集合していただきます。電車でお越しの方は、まずJR飯田線の平岡駅までお越しください。東京方面からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋で飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。

JR飯田線の平岡駅から道の駅「遠山郷」（停留所名はかぐらの湯）までは乗り合いタクシーをご利用ください。お1人650円、所要時間約20分、特急の到着に連絡していますので、下車後、駅前広場まで階段を下ってください。そこでワンボックスタイプの乗合タクシーにお乗りください。平岡駅の予定発車時刻は12時10分です。また自家用車でお越しの方は、中央自動車道の飯田あるいは松川インターチェンジから約1時間です。

さらに今年から遠山藤原学校研修では、往復とも新宿発着の貸し切りバスが出ます。新宿駅西口に1日目の午前6時45分に集合し、午前7時に出発。遠山郷には乗り換えなしの5時間半の旅で12時30分に到着します。のんびりバスに乗って遠山郷へ、お時間の許す方は、ぜひバスでのんびりゆったり、東京から遠山郷へ、直通貸し切りバスでお越しください。

さて、集合場所の「アンバマイ館」という名前の由来ですが、「あんばまいか」というこの地方の方言からとったもので、「遊びましょう」という意味です。方言には標準語にはない温かみがあります。また遠山郷では方言で、よく語尾に「だに」をつけます。地元の方と話をすると必ずといっていいほど聞くことができる方言です。

今回の研修ではアンバマイ館に集合してから、みなさんに自己紹介をしていただきます。それから地元の若者が経営するレストラン「食楽工房 元家 (げんや)」にて昼食をいただきます。遠山郷も若い人が本当に少なくなりましたが、このレストランはそのなかで元気な若者が活躍している注目の場所でもあります。

昼食後は遠山郷の木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設、旧木沢小学校に向かいます。旧木沢小学校は平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在に残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が木沢地区活性化推進協議会という団体をつくって、木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山郷の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である遠山森林鉄道、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した藤原文庫もあります。さらにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、演奏会、映画の撮影などがたびたび行われていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。そしてこの小学校のすぐ隣に遠山藤原学校の事務所があり、その隣には、遠山藤原学校観光農園があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、当社で募った遠山郷ボランティアと地元のみなさんが力を合わせて3年前に開いたばかりの農園で、遠山藤原学校における木沢地区の里山整備の拠点にしようとしている農園です。ここで2時間ほど農業体験を行います。遠山藤原学校スタッフの皆さんのリードで、ご参加の皆さんに季節に合わせた農作業を行っていただきます。農作業はみんなでやるととても楽しいものです。遠山郷ののどかな里山の中に広がる観光農園で、自然と触れ合う楽しいひと時をお過ごしください。

その後、遠山藤原学校研修講演第1部「太平記を傍らに藤原直哉の時局展望」となります。全国各地の藤原塾のように2時間たっぷり時局と今後の行方を考えます。そしてその時に、鎌倉幕府の衰退滅亡から南北朝時代の攻防を活写した日本中世の軍記物語、太平記を引用しながら、ここはこうあるべき、ここはこうすべきというトップリーダーのあるべき姿勢を考えます。ただし、遠山郷では録音はなしにして、ざっくばらんに世のなかの情勢とこれからどうするかをお話します。録音なしのざっくばらんな講演と、太平記の勉強の同時進行は全国の藤原学校・藤原塾で遠山藤原学校だけになります。

講演のあとは、かぐらの湯でゆっくりと疲れを癒していただきます。かぐらの湯の源泉は、全国でも珍しい43度の高濃度塩化物温泉で、体がよく温まり、浴室内で温泉を飲用することもできます。この地域は日本列島を東西に走る中央構造線という大断層のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所です。この温泉もそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉で、豪快な雰囲気が多くファンを惹きつけています。

夕食・懇親会およびお泊りは中央構造線沿いに遠山郷を南に下った此田 (このた) 地区にある民宿このたです。ここはもう少し南に下ると国道152号線の最大の難所青崩峠で、峠の下に青崩峠道路を作る計画が進められています(現在は青崩峠を迂回する兵越 (ひょうこし) 峠が車の往来に使われています)。

そして宿の前でも青崩れの名にふさわしく、青緑色の崖を見ることができますし、地面にも青緑色の石を多数見ることができます。民宿このたでは、野菜もきのこも雑穀も、調味料に至るまですべて自家製のものを使った、お母さんと若旦那さん手作りのこだわりの料理を堪能していただきます。郷土料理・創作料理のレパートリーも多く、常連さんを飽きさせません。窓から眺める小嵐溪谷も絶景です。

そしてお食事は、地元の方々との懇親会を兼ねています。都会の人にも物怖じしない遠山郷の皆さんと交流してください。遠山郷の皆さんもお客様と話すことがとても楽しいようです(なお、お申し込み多数の場合、若くて元気な方には、懇親会のあと、民宿このたよりも標高の低いところにある八重河内地区のいろいろの宿島畑に分宿していただきます。当方で送

迎いたしますのでどうぞご了承ください。

また夕食・懇親会后、ご希望の方は地元のカラオケスナック「セラード舞夢（まいむ）」へお連れします。実は毎回、遠山藤原学校はこの二次会の舞夢が大変盛り上がるのです。参加者の皆さんが本当にリラックスして語り合い、歌う姿はとても明るく温かい雰囲気になっています。どうぞ遠山郷の秋を舞夢で元気にお楽しみください。

2日目は宿を出て和田地区に向かいます。そして和田地区の中心街、江戸時代から伝わる国道152号線・秋葉街道の宿場町、和田宿を歩いて通って、この地域を治めていた遠山氏の菩提寺、龍淵寺に行きます。観音霊水をいただき、境内にある樹齢5百年の観音大杉を見学します。これは根元が一体となった4本の杉で、まだ大変若々しく、家族和合のしるしとして参詣する人が絶えません。

さらに遠山郷土館「和田城」を訪問します。ここでは遠山郷に伝わる霜月祭りをビデオで観るほか、霜月まつりに使う面の複製200点余り等を見学します。また館内にあるカフェ 和田城では、観音霊水で入れたコーヒーをいただきます。

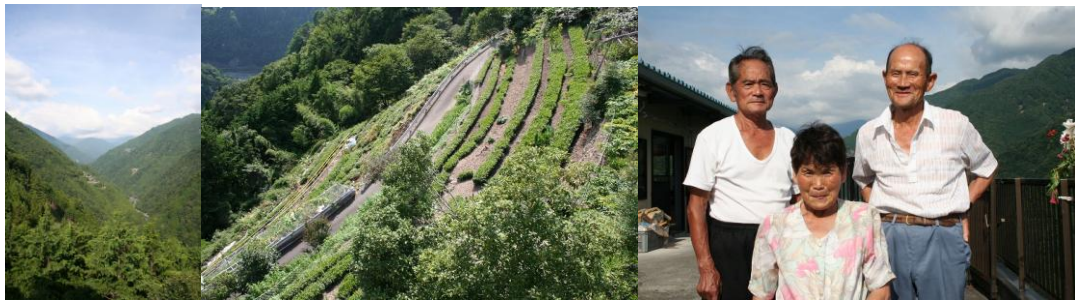
そして観音霊水の隣にある「殿町の茶屋」に行きます。ここは地元の女性たちが経営しているお饅頭屋さんで、名物のふじ姫饅頭はその日の朝に作って売切れたら終わりという非常に人気の高いお饅頭です。遠隔地から来られる方はどうしても遠山郷に来るのが午後になってしまい、何度来ても売り切れで食べられないという幻の饅頭でもあります。よもぎとそばの2種類の饅頭が8個入って千円のふじ姫饅頭は、遠山郷の外はもちろんのこと、遠山郷のなかでもこの殿町の茶屋でしか販売されておらず、ファンが絶えません。さらにここではお店の方がお客さんにお茶やお漬物を接待してくださり、多くの方が地元のみなさんの暖かい人情に触れて感激していかれます。

それから木沢地区に向かいます。途中、小道木（こどうき）地区で遠山川の河原に下りて散策をしたいと思います。ここには河原に埋まっている埋没木があります。埋没木は今から1300年ほど前に一瞬の山崩れで埋没してしまった、当時の樹齢数百年のヒノキやケヤキの立ち木が近年露出したものです。ヒノキなどは今でもヒノキの香りが漂い、古代の木の命をそのまま感じることができます。さらにこの地区には、遠山郷の霜月祭りが開催される熊野神社があります。実は熊野神社の拝殿の前の地面に手をかざすと、不思議と気を感じます。それが何に由来する気かはわからないのですが、とにかく気の出る神社です。

熊野神社を出たら木沢集落を通過して、いよいよ山道に入ります。そして中根地区の熊谷治郎さん宅に伺い、ゆっくりと焼き肉パーティーを開きます。中根地区は遠山郷の絶景ポイントとして有名な下栗の里に登る途中にあり、山の中腹を開墾して人々が住んでいる、とても眺めのよいところです。熊谷治郎さんは遠山郷でも名高いおもてなしの達人で、遠山郷で毎年秋に開かれるマラソン&ピクニック大会のマラニックでも、ランナーのおもてなしが抜群です。さらに今回は熊谷さん宅に、人気ボーカルグループ e Nのみなさんが名古屋から駆け付けてライブ演奏をさせていただきます！

遠山郷ではお客様をもてなす最高の料理が昔から山肉の焼き肉なのです（なお、お魚も出ますので、お肉を召し上がらない方でも大丈夫です）。熊谷さん宅は、遠山郷でも有数の急斜面にあり、囲炉裏をしつらえたお部屋からは天気良ければ南アルプスの主峰、聖岳（ひじりだけ）をはじめとした山と谷の絶景をご覧ください。長年森林整備作業をしてこられた熊谷さんは実は遠山郷を代表する炭焼きの名人で、氏が40年間焼き続けた非売品の匠の炭、「治郎炭」は縁ある方にしかお分けいただけません。今回は熊谷さんのご厚意で、「治郎炭」を使って焼き肉などを作らせていただきます。さらに熊谷さんのお宅の前には大きな栗の木があり、ちょうど栗拾いができる時期だと思っておりますので、みなさんで栗拾いもしたいと思っております。

下の写真左側は、熊谷さん宅から見た南アルプスの主峰です。真ん中はお宅の周囲に広がる急斜面の畑、そして右側の写真、右端が熊谷治郎さんです。



そして、治郎炭の炭焼き釜と、焼き上がった治郎炭、いろりにくべた治郎炭。



さらに今回パーティーを開かせていただくお部屋（窓の先は南アルプス）と栗の木です。



パーティーの前後にはこの中根地区の街並みを歩いて、遠山郷の雄大な自然と、その自然の中でたくましく暮らす人々の生活を垣間見ていただこうと思います。

そして熊谷さん宅での昼食を終えましたら旧木沢小学校へ戻り、「インターネットラジオ公開録音」を行います。火曜日にアップする私のインターネットラジオの番組のうちの1本を皆さんの前で公開録音します。

その後、午後3時45分に旧木沢小学校にて解散。お車を道の駅「遠山郷」に駐車された方、電車でお帰りの方は道の駅「遠山郷」まで車でお送りいたします。電車で東京方面にお帰りの方は、道の駅「遠山郷」内にあるアンバマイ館の玄関前（停留所名はかぐらの湯）を16時7分に出る乗合タクシーで平岡駅まで行ってください。平岡駅には16時28分に到着します。そして平岡を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり526号に乗り換えて、東京には20時10分に到着します。また貸し切りバスで新宿にお帰りの方は旧木沢小学校からそのまま新宿までバスでお送りいたします。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に遠山郷の自然と人情、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、遠山郷の里山に遊び、またよく学んでいただいて、遠山郷のファンとなり、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思います。一人でも多くの方のご参加を心からお待ちしております。

2011年8月吉日
シンクタンク藤原事務所
会長・経済アナリスト 藤原直哉

< 2、研修日程表 >

10月1日（土）

時間	予定	写真
6:45	集合 <u>バス乗車の方、新宿駅西口、工学院大学西側集合</u>	
7:00	出発 貸し切りバスが新宿を出発する時刻	
12:30	集合 <u>道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合</u> 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:45	昼食 食楽工房「元屋」にて	
13:15	出発 木沢地区に向けて出発	遠山藤原学校観光農園 
13:30	到着 旧木沢小学校到着 遠山藤原学校観光農園にて農業体験	
15:30	講演 「太平記を傍らに藤原直哉の時局展望」	龍淵寺 
17:00	出発 和田地区に向けて出発	
17:15	到着 遠山温泉郷「かぐらの湯」で入浴	かぐらの湯 
18:30	出発 民宿「このた」へ向けて出発	
19:00	到着 民宿「このた」にて夕食、懇親会	遠山郷の名物
21:00	出発 いろいろの宿「島畑」へお泊りの方、舞夢へ二次会 に行かれる方、出発	
21:20	到着 「島畑」到着。乗り換えて舞夢へ	
	<u>観音霊水を汲んで帰られる方は、ペット ボトル、水筒、ポリタンをご用意下さい</u> <u>農園作業をしますので、汚れてもよい作 業着、軍手をお持ちください。長靴は当 方で用意します</u> <u>朝夕、山の上は冷え込むことがあります ので、上着をお持ちください</u>	

10月2日(日)

時間	予定	写真
7:00 7:30 8:30	朝食 出発 いろいろの宿「島畑」を出発、民宿「このた」へ 民宿「このた」で全員揃って朝食 和田地区へ向けて出発	
9:00	到着 龍淵寺に到着。観音霊水、観音大杉、殿町の茶屋、遠山郷土館「和田城」等見学	殿町の茶屋(ふじ姫饅頭)
10:00	出発 木沢地区へ出発。埋没木、熊野神社を見学して旧木沢小学校へ	
11:00	到着 中根地区の熊谷治郎さん宅に到着 人気ボーカルグループ eN の演奏を聞きながら、大自然のなかで焼肉パーティー	観音霊水
14:00 14:30	出発 到着 旧木沢小学校へ出発 旧木沢小学校にてインターネット放送公開録音	
15:30	終了	遠山川の清流
15:45	解散 旧木沢小学校にて解散 新宿行きの貸し切りバス出発 電車、お車でお越しの方は、道の駅「遠山郷」までお送りします。 乗合タクシーは同所のバス停かぐらの湯から16:07発。平岡駅16:28着。 豊橋方面行特急は平岡を16:42発です。	
21:15	到着 予定 貸し切りバス新宿到着 (渋滞で遅延する可能性があります) ありますので予めご了承ください <u>なお、道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には臨機応変に迂回します。また山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。</u>	旧木沢小学校

< 3. 研修費用 >

大人 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 30,000円 新宿からご参加 35,000円

学生 (大学生・専門学校生以下、中学生以上) 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 15,000円 新宿からご参加 20,000円

子供 (小学生以下) 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 5,000円 新宿からご参加 12,000円

なお、お食事とお布団、バスの座席の事前のご用意が必要でない乳児は無料です

(1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、 民宿 このた 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内 1373 TEL 0260-34-5034 FAX 0260-34-5091 もし泊りきれない場合は、以下の宿へ分宿をお願いします。 いろりの宿 島畑 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内 580 TEL 0260-34-2286 FAX 0260-34-2281
・ 食事料金	日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食になります)
・ 入浴料 ・ 講演料 ・ ガイド料 ・ 入館料 ・ 遠山郷内交通費 ・ 旅行保険料	日程表に記載されたかぐらの湯の入浴料、藤原直哉講演会の講演料、旧木沢小学校管理費および農業研修ガイド料、熊谷治郎さんへの謝礼、eNへの謝礼、入館料、研修中の遠山郷内の交通費、下記旅行保険料、新宿からご参加の方は新宿・遠山郷間貸し切りバスでの交通費
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害2千万円)

(2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

< 4. 旅行手配およびバス運行 >

マツカワ観光バス 株式会社	〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2 <本社/営業所> TEL 0265-36-2345 (代) FAX 0265-36-6060 国内旅行業務取扱管理者：松村 康文	一般旅客運送業 : 新自旅第 771 号 長野県知事登録旅行業 : 第 3-442 号 社団法人全国旅行業協会正会員
------------------	--	--

< 5. 研修要領 >

募集人員	<p>20名（最小催行人数：10名） なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください （FAX または郵送でお願いします）</p>	
研修代金	<p>2011年9月22日（木）までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込みください。 郵便局 記号：10250 番号：89520371 口座名義：有限会社藤原事務所 または ゆうちょ銀行（郵便局） 店名：〇二八（ゼロ二ハチ） 店番：028 預金種目：普通預金 口座番号：8952037 口座名義：有限会社藤原事務所</p>	
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p>	
	<p>出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</p>	<p>大人1万円 学生5千円 子供2千5百円</p>
	<p>出発日の前日より起算して2週間前まで</p>	<p>参加費用の40%</p>
	<p>出発日の前々日および前日</p>	<p>参加費用の50%</p>
	<p>出発日の当日又は無連絡不参加の場合</p>	<p>参加費用の80%</p>
	<p>研修開始後</p>	<p>参加費用の100%</p>
研修主催（お問い合わせ）	<p>シンクタンク藤原事務所 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-13-12 ASUKAビル2F 電話 0465-44-4750 FAX 0465-44-4751 電子メール higuchi@fujiwaraoffice.co.jp 担当 樋口敬子（ひぐち けいこ） <u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <u>090-3046-6354</u></p>	

< 6. 研修概要 >

・ 研修名称	2011年10月上旬 遠山藤原学校研修
・ 日時	2011年10月1日(土)・10月2日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区
・ 集合・解散場所	<p>現地 集合：1日(土) 12:30 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館 解散：2日(日) 15:45 旧木沢小学校</p> <p>新宿 集合：1日(土) 6:45 新宿駅西口、工学院大学西側 (地図参照) 到着：2日(日) 21:15 新宿駅西口</p> <p>(なお30分から1時間の渋滞を見込んだ時刻を設定してありますが、それを超える渋滞の場合は遅れて到着する可能性があります)</p> <p>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。 090-3046-6354</p>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演など
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉

< 7. 現地集合・解散場所まで/からの自家用車、電車での交通手段 (ご参考) >

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」 (電話 0260-34-1071)</p> <p>中央高速道 飯田、松川インターチェンジから約1時間 中央高速道 飯田山本インターチェンジから約1時間 東名高速道 浜松インターから兵越峠経由で約2時間半</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から (行き) 東京 8:33 ひかり 505号 豊橋 9:59 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57 平岡駅 12:10 乗合タクシー かぐらの湯 12:30 かぐらの湯バス停はアンバマイ館玄関前。1人650円 (帰り) かぐらの湯 16:07 乗合タクシー 平岡駅 16:28 平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:43 ひかり 526号 東京 20:10</p>

< 8. 注意事項、および持ち物など >

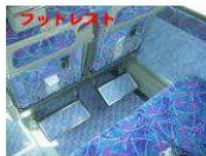
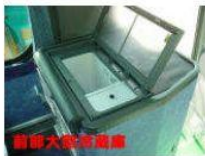
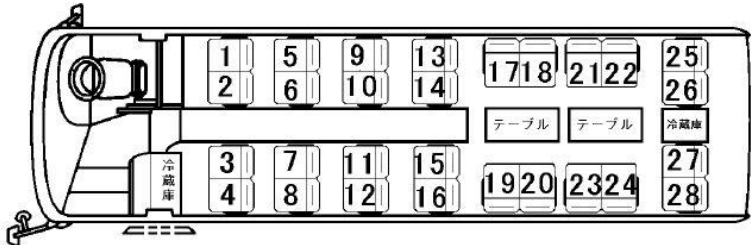
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、ペットボトル、水筒またはポリタンをご用意下さい。
- ・ 農園作業をしますので、汚れてもよい作業着、軍手、帽子をお持ちください。
- ・ 長靴は当方で用意します。
- ・ 朝夕、山の上は冷え込むことがありますので、上着をお持ちください。
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

希望と心のふれあいの旅

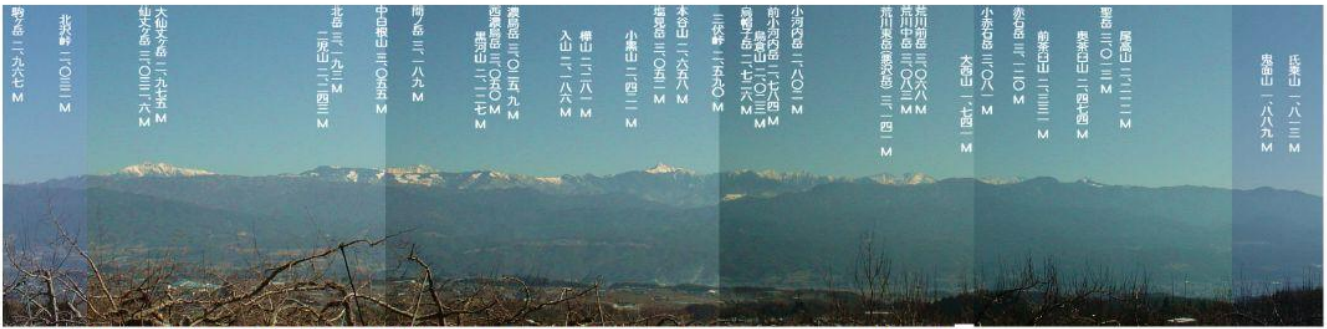


便利・快適・安全を追求したスーパーサルーンバス Isuzu 465 28席

座席配置(サロン状態、座席を回転して前向きにも出来ます)



- 主な装備・仕様
- 足元ゆったりフットレスト付 28 席
 - 全シート可倒式アームレスト
 - シートバックテーブル・シートポケット
・コップ立て・灰皿
 - 8 席回転サロン (4 席のみでも使用可)
 - サロン席 2 分割テーブル
 - トレー式ルームラック
 - 大型ボトルクーラー (前後 2ヶ所)
 - 大型貫通トランク
 - 大型冷凍冷蔵庫 (60Lトランク内)
 - 給湯ポット
 - 電動格納式カラー液晶TV (前部 20 型, サロン席 15 型)
 - TVチューナー
ビデオ・CD・DVDデッキ
 - シンセサイザーカラオケ
 - 遠赤外線式ワイヤレスマイク
 - 障害物のないフロントワイドビュー
 - 乗り降りスムーズ フロントタイプ (120mm)



松川町から望む南アルプス(赤石山脈)(上段:南アルプスの山々、中段:前山の山々、下段:伊那山地の山々)

営業案内

- 貸切バス事業** 一般貸切、各種送迎
 小さなグループから団体旅行まで
 旅のガイド付、地域観光案内
- 旅行事業** 国内旅行
 一度行ってみたいかった話題の観光地
 ご希望に応じたコースの企画・見積と
 手配・ご案内をさせていただきます



4列20人乗りサロン車



4列21人乗りサロン車

マツカワ観光バス株式会社

本社/営業所 TEL 0265-36-2345(代)
 FAX 0265-36-6060

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2
 一般旅客運送業 北信交旅第813号
 長野県知事登録旅行業 第3-442号
 社団法人 全国旅行業協会正会員

新宿から貸し切りバスご利用の方へ

新宿駅西口、貸し切りバス集合場所

10月1日(土) 午前6時45分厳守



新宿駅西口の京王プラザホテル向かい側、工学院大学の西側

申 込 書

2011年10月上旬 遠山藤原学校 10月1・2日

ご記入日： 年 月 日

選択してください ・ 自家用車で現地ご参加 ・ 電車で現地ご参加 ・ 新宿往復貸し切りバスご参加

フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			生年	明・大・昭・平 (西暦 年)	
			月日	年 月 日 (満 歳)	
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)					
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)

■ ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。					
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。 部署： _____ 役職： _____				
ご連絡先 住所	〒 _____				
TEL	(_____) _____	FAX	(_____) _____		
携帯電話	緊急時 連絡可・不可				
電子メール	@ _____				
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small>				
●その他ご希望等ございましたらご記入ください。					

シンクタンク藤原事務所 担当：樋口敬子

TEL : 0465-44-4750

E-Mail higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先： 0465-44-4751 ↑